

# ASMA Webセミナー2021

- ▷ **主催**： (一社) 形状記憶合金協会
- ▷ **協賛**： (一社) 日本機械学会 材料力学部門 形状記憶材料の高機能化と応用に関する分科会  
： 日本ばね学会
- ▷ **ご案内**

はじめに、新型コロナウイルスにより罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

依然として新型コロナは収束に向かう様子が見られないため、『Webセミナー』を今年度も開催します。

今年度のWebセミナーは 全4回 を企画しています。是非ご参加ください。

- 第1回 6月17日(木) 15:30～17:00 形状記憶合金の基礎と実演
- 第2回 8月27日(金) 15:30～17:00 形状記憶合金の製造と応用事例
- 第3回 10月15日(金) 15:30～17:00 最新の材料研究
- 第4回 11月25日(木) 15:30～17:00 最新の応用研究

秋以降、新型コロナの収束状況や世間の状況に応じて、シンポジウムの様なイベントが開催出来ないかも検討します。

## 第2回 ASMA Webセミナー2021

- ▷日時 **2021年 8月 27日(金) 15:30~17:00**
- ▷講師 **株式会社 トーキン 奥寺良氏**  
演題 **Ti-Ni合金の製造について**
  
- ▷講師 **株式会社 吉見製作所 坂一宏氏**  
演題 **形状記憶・超弾性合金を活用した製品例**
  
- ▷参加費 **一般：3,000円 主催会員、協賛会員、学生：無料**
- ▷参加申込 **参加申込書にて、8月20日(金)までにご連絡願います。**
- ▷お問合せ先 **ASMA事務局 (担当：石井、望月)**  
**E-mail : jimukyoku@asma-jp.com**

## ▷プログラム

### 15:30～16:10 **Ti-Ni合金の製造について**

株式会社 トーキン 奥寺 良

Ti-Ni合金の製造方法は、一般的な金属材料のプロセスを応用したものです。

しかしながら、Ti-Ni合金はいわゆる「難加工性材料」ですので、一般的な金属材料よりも難しく、手間が掛かります。当社では商業化にあたり、これまで培ってきた金属材料の生産プロセスを応用し、量産化して参りました。

本講演では、商業ベースで行っている製造工程や課題について紹介致します。

### 16:10～16:50 **形状記憶・超弾性合金を活用した製品例**

株式会社 吉見製作所 坂 一宏

チタンニッケル形状記憶合金は超弾性、形状記憶特性の他にも、表面に強固な酸化チタン膜を作り内部まで進行しない事(錆びない事)、金属間化合物となり折れるときは急にぽきっと折れる事、電気を流すとあたたまりやすい事、溶接・はんだ付けなどが難しい事などの特徴があります。弊社の応用例のご紹介を通じてチタンニッケル形状記憶合金を実用面からご覧いただき、開発の参考としていただけましたら幸いです。

# ASMA Webセミナー2021 参加申込書

**開催日時 2021年8月27日(金) 15:30~17:00**

- ▷ **Zoom参加形式**      選択： アプリ ・ Web
- ▷ **区分**                選択： (主催、協賛)会員    ・ 学生    ・ 一般
- ▷ **お名前(ふりがな)**    記入：
- ▷ **ご所属**                記入：
- ▷ **メールアドレス**        記入：
- ▷ **電話番号**              記入：
- ▷ **申し込み先**

ASMA事務局（担当：石井、望月） **E-mail : jimukyoku@asma-jp.com**

ご連絡いただいたメールアドレスに、参加受付完了のご連絡と ZoomのURL を送信します。

## Webセミナー 受講ルール

1. **お申込者本人のみ**参加・視聴いただけます。

※会議室等で**複数人**での参加・視聴の場合は、**全員分の参加登録**をお願いします。

※2台以上の機器のマイクやスピーカーが近くにあると**ハウリング**が発生します。ご注意ください。

2. **録音、録画、動画URLの無断共有、スクリーンショット等**は、**禁止**といたします。

※発見した場合は、直ちにご退場いただきます。

3. 「ネットワーク環境が安定した場所」からご参加ください。（通信料はご負担願います）

4. 参加受付のために、ご参加の際は **ご所属とお名前** を表記願います。**判別不明な英数字は不可**。

5. 参加中は、ご自身の**音声は「ミュート」**にしてください。主催者側でも音声管理をさせていただきます。

6. 講師は皆さんの反応を見ながら話を進めますので、出来るだけカメラは「ON」でご参加願います。

7. **質疑**は、**講演が終了後**に受け付けます。

8. 質問がある方は、「参加者」のボタンをクリックし、「**手を挙げる**」という項目をクリックしてください。

※司会が指名しますので、指名されたら「ミュート」を解除し、カメラを「ON」にして質問をしてください。